

2003 年度(平成 15 年度)事業計画書

2003年度は、ひきつづき厳しい経済情勢の中での協議会活動を強いられるものと予測されます。一方、一昨年末の文化芸術振興基本法の制定は、平成15年度の文化庁予算の増額などに、その影響が現れ始めており、同法第31条に定められた「民間の支援活動の活性化」に関連して、当協議会の助成認定制度に対する各方面の関心や期待も一段と高まりつつあります。

さらに、政府において目下、公益法人制度改革が検討されており、その結論如何によっては、社団法人である当協議会の運営も少なからず影響を受けることとなります。このような状況の下で、本年度は以下の事項に留意しつつ活動を展開してまいります。

(1) 助成認定制度の全国展開および関西地区対策の推進

当協議会の助成認定制度の利用拡大をはかるため、全国の都道府県・政令指定都市の文化関連機関等の協力のもとに相談窓口を設置し、これらとの連携のもとに事業を推進してまいります。なお、かねてより当協議会支部の設置が求められている関西地区については、関係機関と調整しつつ、上記窓口のほかに何らかの拠点が設けられるよう推進してまいります。

(2) 広報活動の強化

広報活動をさらに強化し、マスコミ媒体を通じて当協議会の事業に関するPR活動を積極的に展開していきます。

(3) 15周年記念事業の企画立案

当協議会は、2005年(平成17年)2月に設立15周年を迎えることから、その記念事業の企画立案作業に着手してまいります。

(4) 業務の効率化

低迷を続ける経済状況下において、会費収入の大幅な増加が期待できないことから、各業務の内容をさらに洗い直し、効率的な業務推進をはかるように努めます。

1. 啓発・普及事業 (6,615 千円)

1.1 セミナー等 (2,400 千円)

本年度のセミナーは、内容や実施要領に応じて次のように区分し、より計画的に実施します。

区 分	概 要	開催頻度	対象
定例セミナー	時期やテーマを予め設定し、定期的 に開催。	年間 4 回	会員 (無料) 一般 (有料)
臨時・特別セミナー	その折々のトピックスや状況に応じ て柔軟に開催。	年間 2~3 回	会員 (無料) 一般 (有料)
メセナ入門講座	新たにメセナ担当となった方々を 対象に開催。	年間 2 回	会員限定 (無料)
フィールド視察	メセナやアートの現場を視察。	年間 3 回	会員限定

1.2 全国メセナ組織との交流 (500 千円)

全国メセナネットワーク (加盟 16 団体) の本年度の全国会議は 2003 年 9 月 26 日 (金)・27 日 (土)、島根県出雲市で開催される予定です。

本会議には、当協議会会員にも参加を呼びかけ、加盟団体関係者との交流を通じて、地域におけるメセナ活動の振興に努めます。

なお、当協議会の助成認定制度の利用拡大に関して、加盟団体にも協力を求めてまいります。

1.3 広報活動の強化 (1,200 千円)

2002 年度よりマスコミ媒体向けにニュースリリースの発行を開始しましたが、本年度は PR キットの作成や東京以外での記者発表の実施などにより、さらに広報活動を強化してまいります。

2. 情報集配・仲介事業 (33,395 千円)

2.1 情報紙の発行 (7,600 千円)

本年度もひきつづき機関紙『メセナ note』を年6回、隔月に発行しますが、他の事業との連動をさらに強め、立体的な情報発信に努めます。

□発行月 奇数月15日

□体裁 A4サイズ、8ページ

※このほか増刊号・増ページ号を発行の予定

○10月(メセナ大賞読者賞案内)

○11月(『メセナレポート』:メセナ実態調査結果発表)

□発行部数 5000部

2.2 ホームページにおける情報発信 (6,990 千円)

ホームページは内外の幅広い層に向けて情報発信できる重要なメディアであり、本年度はさらに内容の充実をはかるとともに、デザインの刷新を行うなど改善をはかってまいります。

また、一昨年11月から開設している、アートサポートに関する総合データベース『メセナビ』についても、メセナ情報の有効な検索システムとして引き続き充実をはかります。

2.3 コーディネート事業 (収入:10,000千円、支出:7,000千円)

会員及び公的機関からの要請を受けて、さまざまな芸術文化支援活動の企画・運営を担当するコーディネート事業を次のとおり実施します。

依頼企業・団体名	内 容
トヨタ自動車	トヨタ・アートマネジメント講座
アサヒビール	アサヒ・アート・コラボレーション
京都橘女子大学	文化政策学「東京講座」

3. 調査研究事業 (10,142 千円)

3.1 調査活動 (3,470 千円)

(1) メセナ活動実態調査

調査部会では、例年どおり前年度の企業メセナの動向についてのアンケート調査を実施し、その集計・分析結果を今秋に発表するよう活動します。

□調査対象 民間企業約 4000 社

□実施時期 2003 年 4 月～5 月

□発表方法 ① 『メセナ note』 増ページ号〈メセナリポート〉

② 総合データベース 『メセナビ』

③ 協議会ホームページ

④ マスコミ記者発表会

3.2 研究活動 (1,260 千円)

(1) 本年度の研究部会は、「芸術文化支援の基盤整備」をいっそう促進する必要があるとの現状認識のもとに、その実現のために研究すべきテーマ（例：「アート NPO の育成」など）を絞り込み、より多くの会員関係者にも参加を呼びかけて、「研究会」を年間 3～4 回程度開催しつつ、年度末までに何らかの政策的提言をまとめるように活動します。

(2) なお、昨年 2 月に発足した、会員のメセナ担当者による情報交流会は、正式名称を「実務担当者勉強会」（通称：「若手ネットワーク」）とし、協議会事務局のサポートのもとで、その運営を極力、参加者の自主性に委ねて年間 4 回程度開催することとします。

4. 顕彰事業 (15,837 千円)

4.1 メセナ大賞 (10,440 千円)

大賞部会では、「メセナ大賞 2003」を例年同様に実施し、企業によるメセナ活動の奨励をはかります。本年度はとくに推薦（他薦）案件の増加をめざして PR 活

動を強化するとともに、ひきつづき地方におけるユニークな企業メセナを発掘するように努めます。

□応募締め切り 5月末

□審査 9月上旬～下旬

□贈呈式 11月27日(木) 会場：東京青山・スパイラルホール

なお、本年度は授賞トロフィーが3年ごとの更新時期にあたるため、従来同様に、新進の美術作家によるコンペを実施し、新しいトロフィーを選定します。

また、審査委員は本年度より3年間、新たに次の方々に就任いただきます。

池上 惇氏 (京都橘女子大学・文化政策学部長) ※

柏木 博氏 (デザイン評論家/武蔵野美術大学教授)

南條史生氏 (森美術館副館長)

松岡和子氏 (演劇評論家/翻訳家)

三善 晃氏 (作曲家/東京都文化会館館長)

森まゆみ氏 (作家/谷根千工房主宰)

渡辺 裕氏 (東京大学大学院教授/音楽研究者)

(福原義春会長・理事長)

※池上氏には前回の在任期間が1年であったため、留任をお願いしました。

5. 国際交流事業 (1,572千円)

各国のメセナ組織と日常の情報交流を継続するほか、昨年度は開催中止となった次の国際会議に事務局員が出席します。

□会議名 国際メセナネットワーク会議

□開催時期 2003年8月中旬

□開催地 オーストラリア・メルボルン

6. 助成事業 (助成寄付金額 500,000 千円／業務費 20,516 千円)

各方面の要請に応じて、協議会助成認定制度の地域相談窓口を本年 4 月 1 日より、全国の都道府県・政令指定都市の文化振興財団やメセナ団体等の文化関連機関の協力をえて順次設置してまいります。

したがって、本年度はこれらの相談窓口との連携を密にしつつ、制度の利用拡大に向けて積極的な対策を講じてまいります。

なお、このたび助成選考委員 10 名のうち、6 年以上在任いただいた 5 名の方は任期満了につき 3 月末をもって退任されます。ついては、その後任および新対象分野の専門家に次期委員の就任要請を行い、承諾を得ました。

これにより本年度の選考委員会は、高階秀爾委員長のもとで、計 12 名の専門委員により構成されます。

<専門委員内訳> 音楽：2 名、美術：3 名、演劇：2 名、舞踊：1 名、映画：1 名、
文学※：1 名、メディア芸術：1 名、芸能※：1 名 ※印は新分野
なお、委員長以外の委員名は公表しないことになっています。

(参考) 助成認定活動実績

年 度	1994	1995	1996	1997	1998	1999	2000	2001	2002※
申請件数	103	92	125	121	121	172	176	151	120
認定件数	83	80	109	115	111	155	165	146	119
寄付件数	159	430	661	769	697	752	879	949	773
金 額	19,705	31,102	55,590	86,555	44,281	51,566	53,305	57,361	44,129
1 件当り金額	123	72	84	113	64	68	60	60	57

※金額の単位は万円、2002 年度は 11 ヶ月の実績

以上